

令和 7 年 (2025 年) 産業連関表
部門検討の進め方 (案)

令和 8 年 1 月 21 日
産業連関技術会議 第 1 回 推計グループ

総務省政策統括官室 (産業連関表担当)

1. 基本的な方針

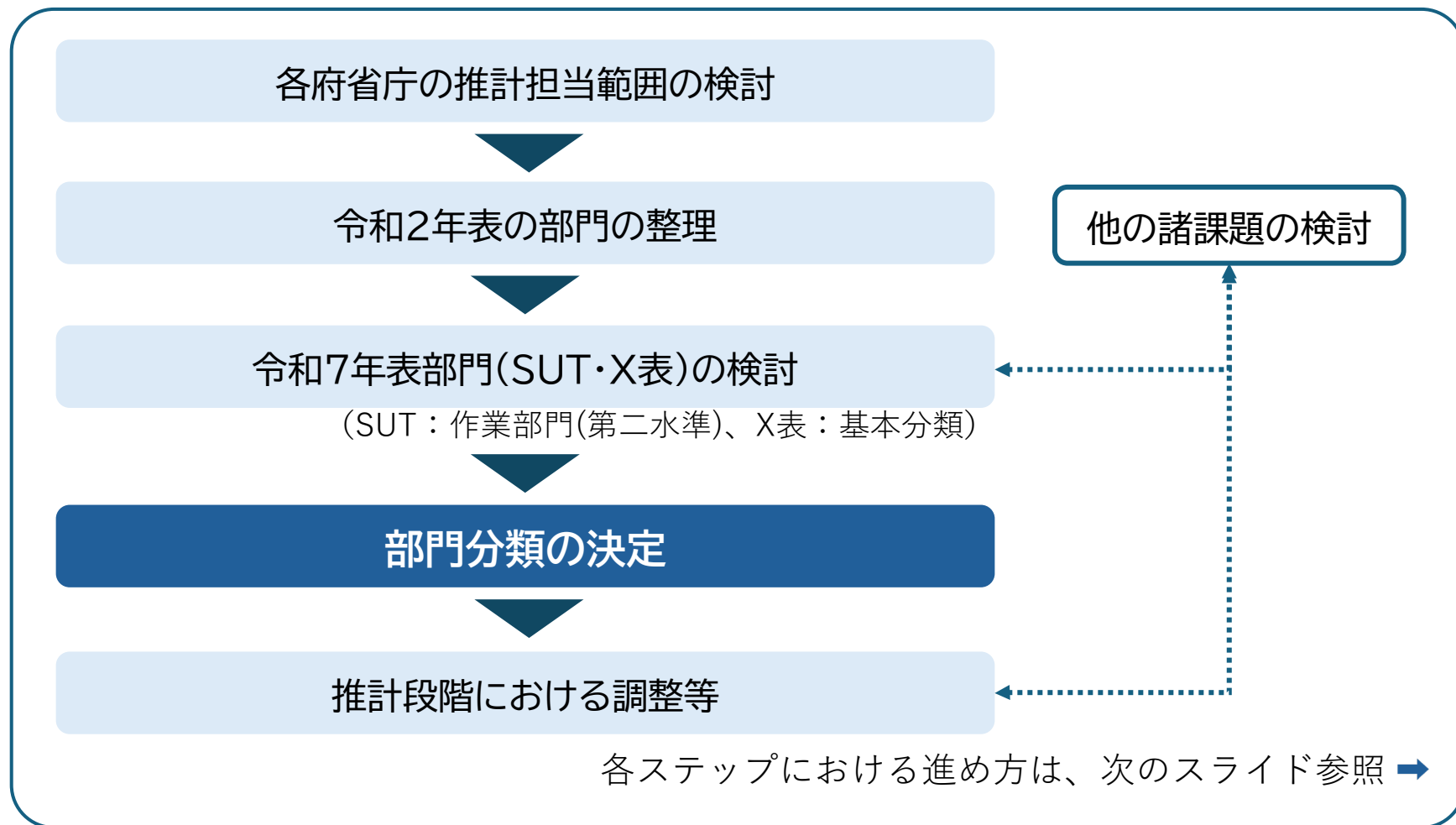
- S U T 体系への完全移行に伴う令和 7 年産業連関表各表の具体的な推計方法については検討中の段階だが、「令和 7 年産業連関表作成基本方針」等のおり、一次統計から S U T を推計し、それを踏まえた X 表の推計を想定している。
- S U T の部門分類の検討にあたっては、次の基準との整合性に留意する。
 - 産業(列) : 日本標準産業分類(第14回改定)、令和8年経済センサス活動調査3.5桁分類
 - 生産物(行) : 生産物分類(2024年設定)、令和8年経済センサス活動調査品目
- S U T の部門分類の構造については、令和 2 年同様、公表部門と作業部門を設定し、その粒度及び区分の目安は次のとおりとすることを想定している。

	産業(列)	生産物(行)
公表部門(第一水準)	令和2年S表・U表程度	令和2年S表・U表程度
作業部門(第二水準)	従来のIO基本分類(列)	従来のIO基本分類(行)

- X 表の部門分類に関しては、生産物分類との整合性も考慮して検討する。

2. 検討手順

- 令和7年表の部門分類については、次のような手順で検討を進める。



- 各府省庁は、検討結果を幹事会に報告・説明する(報告様式は別途提示予定)。

2-1. 令和2年表の部門整理

- 10府省庁による作業とし、各府省庁の担当範囲は令和2年表の担当を踏襲する。
- 令和2年表の部門(列,行)に対して、最新の産業分類・生産物分類・経済センサス-活動調査との対応関係を整理する。

【対応表のイメージ】

X表 [R7 基本分類]			X表 [R2 基本分類]			SUT [R7 第2水準]		産業分類 [R5.7告示]	
列コード	行コード	名称	列コード	行コード	名称	列コード	名称	コード	項目名
			0111-01	0111-011 0111-012	米 米 稲わら				
			⋮	⋮	⋮				



SUT [R7 第2水準]		生産物分類 [2024設定]		経済センサス [R8調査]	備考(メモ)
行コード	名称	コード	項目名	調査品目	



- 産業連関表における財分野の「生産物分類欄」は、空欄とする。
- 本作業は、令和7年表部門分類検討のための準備という位置付けである。

2-2. 令和7年表の部門検討

- (1) 諸課題（資料1）として挙げた事項の検討 → 対応表の入力・更新
- (2) R7X表部門の変更有無・変更内容等を検討((1)除く) → 対応表の入力(入力済項目の更新)

X表 [R7 基本分類]			X表 [R2 基本分類]			...	産業分類 [R5.7告示]		...	生産物分類 [2024設定]		経済センサス [R8調査]
列コード	行コード	名称	列コード	行コード	名称		コード	項目名		コード	項目名	調査品目
			0111-01		米		XXX	XXX		XXX	XXX	XXX
				0111-011	米							
				0111-012	稲わら							
			⋮	⋮	⋮		⋮	⋮		⋮	⋮	⋮

- 新設部門を立てる際には、担当府省庁も検討する。
- 産業構造の変化、政策ニーズ、推計資料の制約等を踏まえて検討する。
- 財分野については、「生産物分類」との対応も検討し、対応表に入力する。

【補足】R2 X表での参考情報

- 複数の生産物分類が対応している X表行部門のうち、関係部門すべてが経済センサスを基礎資料としている場合、経済センサスの調査品目（生産物分類）の区分に合わせ X表行部門の概念・定義・範囲を修正することが考えられる。
- X表行部門の概念・定義・範囲の変更が難しい場合は、複数の X表行部門に対応しているセンサス調査品目を一定の方法（企業産業分類等）により分割するなどの措置が必要になる。
- 経済センサスを基礎資料としていない X表行部門については、現行の X表行部門の範囲を満たす基礎資料がある場合、あえて X表行部門の概念・定義・範囲の変更を行わない方法も考えられる。

2-3. 令和7年表の部門検討

部門 (SUT) を検討

- (3) 部門 (SUTの列) と産業分類との対応を検討((1)除く) → 対応表の入力(入力済項目の更新)
 部門 (SUTの行) と生産物分類との対応を検討((1)除く)

X表 [R7 基本分類]			...	SUT [R7 第2水準]		産業分類 [R5.7告示]		SUT [R7 第2水準]		生産物分類 [2024設定]		経済センサス [R8調査]
列コード	行コード	名称		列コード	名称	コード	項目名	行コード	名称	コード	項目名	調査品目
XXX	XXX XXX	XXX XXX XXX				XXX	XXX			XXX XXX	XXX XXX	XXX XXX
⋮	⋮	⋮				⋮	⋮			⋮	⋮	⋮

- SUT作業部門(第二水準)については、従来のIO基本分類の粒度・区分を目安に設定することを想定している。
- また、検討においては次の基準との整合性に留意する。
 - ・ 産業(列) : 日本標準産業分類(第14回改定)、令和8年経済センサス活動調査3.5桁分類
 - ・ 生産物(行) : 生産物分類(2024年設定)、令和8年経済センサス活動調査品目

【補足】

- SUTの行部門と列部門が「1 : 多数」になる場合で、商品(生産物)技術仮定を行う際は、多数となっている列部門を「1部門に統合」した上で実施する。
- さらに、作成されたX表において、1部門を「多数部門に分割」する方法等を検討する。
- このため、部門検討(設定)における行部門と列部門は、必ずしもシンメトリックとしないことを想定している。

2-4. 部門の決定、調整

作業部門(第二水準)の検討結果を踏まえ、公表部門(第一水準)を検討

- (4) 国内生産額の推計状況等を踏まえ、生産物(行)の作業部門(第三水準) (従来の細品目(10桁分類)に相当)を検討

■ 以下の部門に関する事項を「基本要綱」に記載する(予定)。

- 部門の基本的事項 (方針・考え方、設定方法、種類、特殊扱い等)
- 令和7年産業連関表の作成における課題の検討結果 (部門分類関係)
- 令和7年産業連関表における部門分類の設定等に関する主な変更の概要
- 部門別概念・定義・範囲 (定義・範囲は生産物分類での記述の変更)
- 【S表・U表】 産業(列) 部門表 - 第一水準及び第二水準 -
- 【S表・U表】 産業(列) 部門(第二水準)と日本標準産業分(細分類)との対応表
- 【S表・U表】 生産物(行) 部門表 - 第一水準及び第二水準 -
- 【S表・U表】 生産物(行) 部門(第二水準)と生産物分類(詳細分類)との対応表
- 【S表・U表】 生産物分類(詳細分類)と金融各部門との対応
- 【S表・U表】 生産物第二水準の対象外とする生産物分類(詳細分類)
- 【X表】 部門分類表(内生部門、最終需要部門、粗付加価値部門等)
- 【X表】 令和2年産業連関表-令和7年産業連関表 部門分類対応表
- 【X表】 産業分類による定義・範囲と生産物分類による定義・範囲の対応表

■ 推計過程において、基本要綱で決定した部門分類による推計が困難であること等が判明した場合は、柔軟に分類の見直し等の対応を図る。

(参考) スケジュール予定

